

アソカ講話094

テーマ「奇跡の命に感謝」

月刊致知1月号に次のような言葉が載せられている。

「忘れてはならない奇跡がある。この世に自らの意思で生まれてくる人は一人もいない、ということである。寿命もまた人の意志の範疇をはるかに超えている。しかも、自分と同じ人間は過去にいなかったし、これからは生まれてこない、ということである。人は誰しもこの悠久の宇宙の中でただ一人、一回きりの命を生きている。まさに奇跡の命であり、人生である」とある。

世界にただ一人の自分、そして一度きりの命、その「奇跡の命」同士が出会い、喜び悲しみを分かち合い、社会に生きている。その出会いもまた奇跡の出会いだと思う。

この世に生を受けたこと、多くの人に出会い教えられたこと、支えられて、今の命が続いていることに心から感謝したい。この職場で働けること、素晴らしい仲間に出会い、価値ある素晴らしい仕事ができる幸せに感謝したい。この職場の仲間との出会いも奇跡のような出会いである。一日一生という言葉がある。実は一日一日が誕生であり、終焉である。今日もかけがえのない一日を与えて頂いたことに感謝して仕事に臨みたい。

